

5-8 静岡県西部（浜名湖付近）の地震（2001年2月23日 M4.9）

The M4.9 earthquake in the western Shizuoka prefecture on February 23, 2001

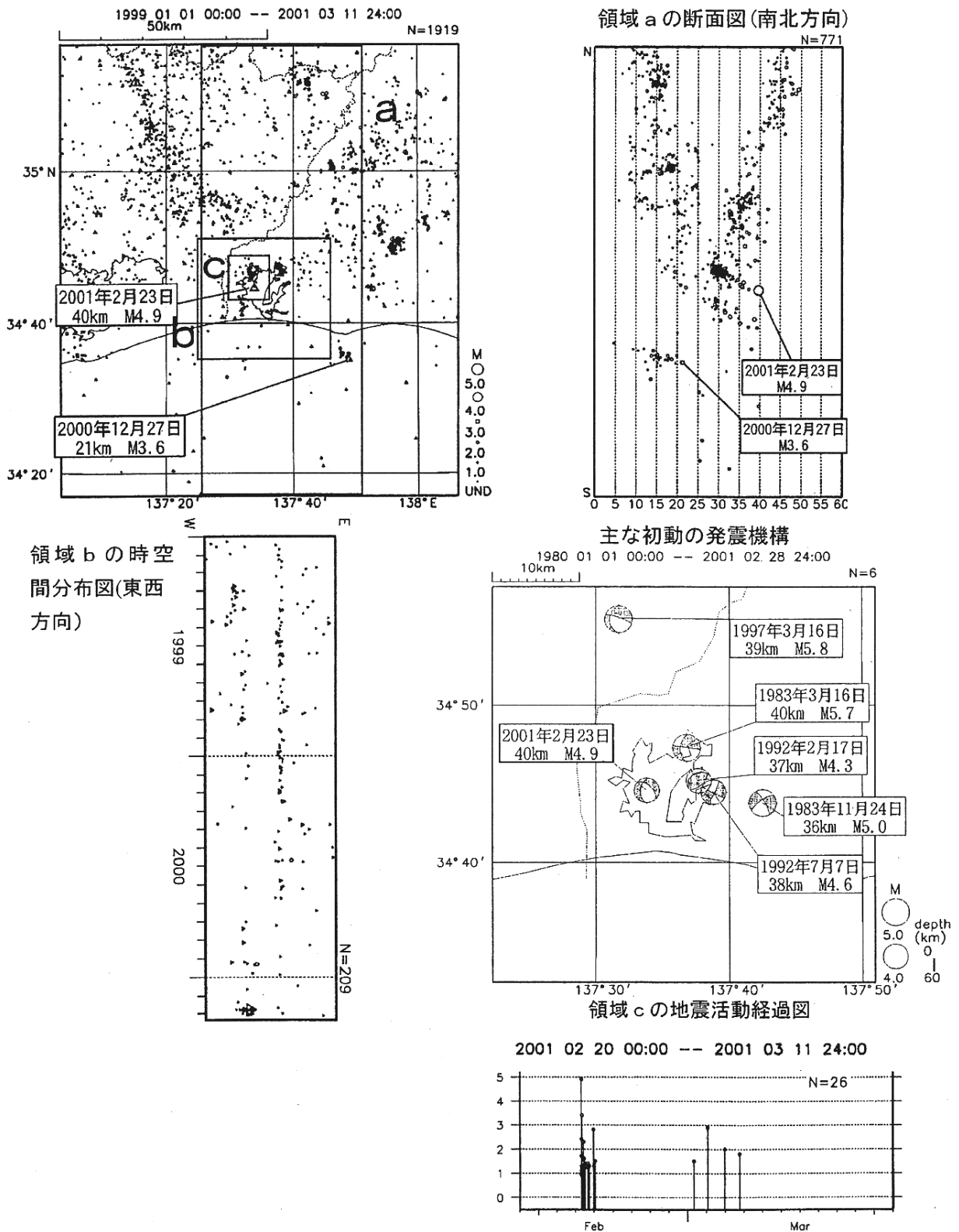
気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

2001年2月23日に静岡県西部の深さ40kmでM4.9の地震が発生した。余震活動は比較的低調だった。この地震はフィリピン海スラブ内で発生し、発震機構は、北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型だった（第1図）。浜名湖付近のフィリピン海スラブ内では張力軸が東北東-西南西方向である横ずれ断層型が卓越しているが、同じ方向に張力軸を持つ正断層型もないわけではない。浜名湖付近から北西方向に帯状に伸びるフィリピン海スラブ内の活動域では、今回の地震と同じ正断層型が卓越している。

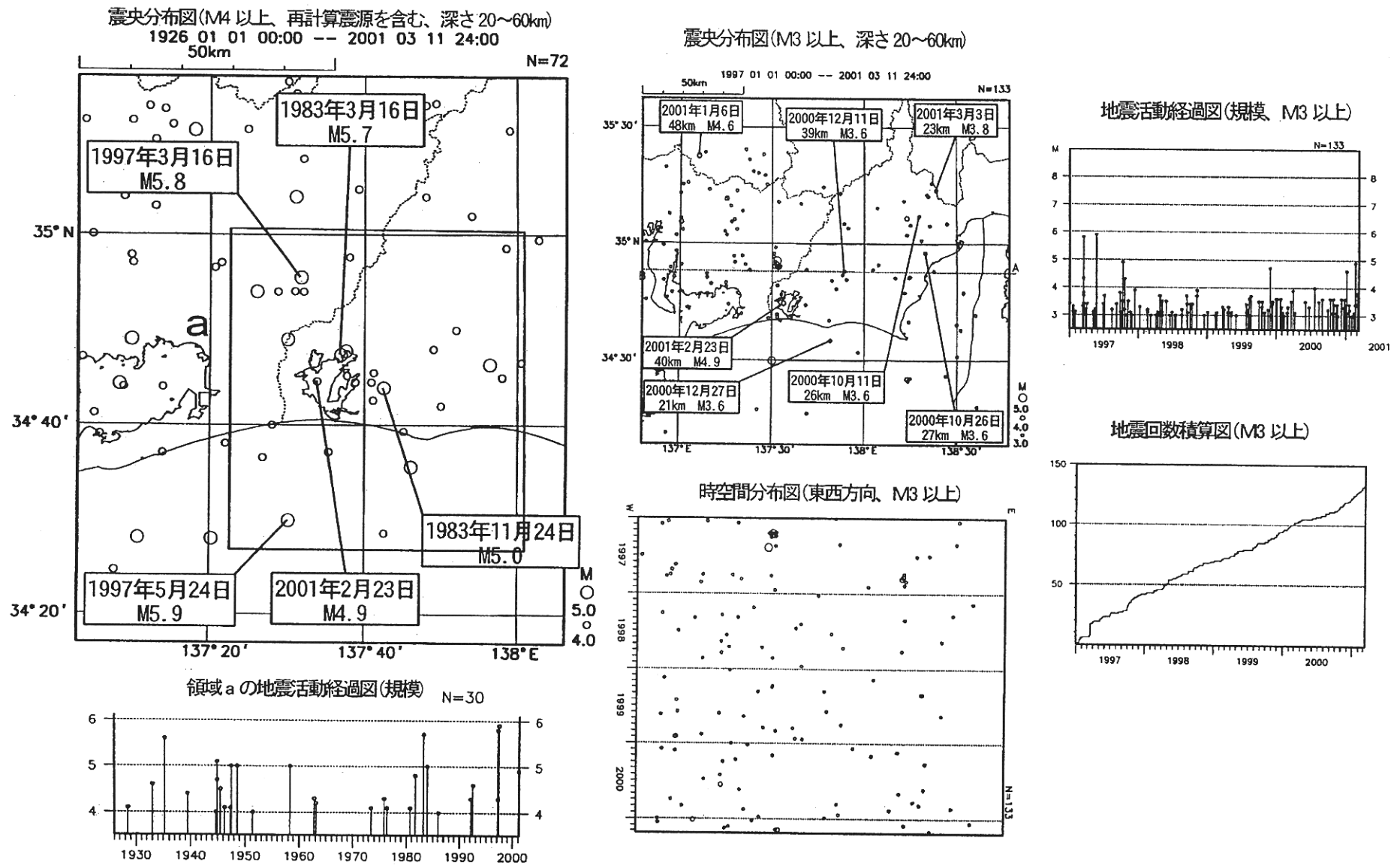
浜名湖付近では東岸付近、北東岸付近、北西岸付近のフィリピン海スラブ内にクラスター的な活動域が見られる。今回の地震はこのうち浜名湖の北東岸付近のクラスターで発生したものである（第1図）。浜名湖の東岸付近では1992年にM4.6とM4.3の地震が発生し、北東岸付近では1983年にM5.7の地震が発生している。それに対し、浜名湖の北西岸付近では1926年以降、M4を越える地震は発生していないので、北西岸付近の活動としては、今回の地震は1926年以降で最大の地震だった（第2図）。

浜名湖付近を含む東海地域（第2図中段の震央分布図の範囲）の深さ20~60kmでは2000年末頃からM3以上の地震が増加傾向となった。また、東海地域では1997年にM5クラスの地震を含む活発な活動があつて以降、活動レベルが低下していたが、M4以上の大きめの地震で見ても、2001年に入り1月に岐阜県美濃東部でM4.6の地震、2月には今回の浜名湖付近でM4.9の地震が続いて発生するなど、フィリピン海スラブ内での活動がやや活発化する兆しが見られる（第2図）。



第 1 図 静岡県西部（浜名湖付近）の地震活動 (1)

Fig.1 Seismic activity in the western Shizuoka prefecture (near Hamanako lake) (1).



第2図 静岡県西部（浜名湖付近）の地震活動 (2)

Fig.2 Seismic activity in the western Shizuoka prefecture (near Hamanako lake) (2).